

平成20年11月27日
水産庁

水産物の市況について(平成20年11月及び12月)

—東京都中央卸売市場における平成20年11月(平成20年10月21日～11月20日集計)の市況と、
12月の市況見通し(前月との比較)

I 平成20年11月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月並みとなり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)はやや強含みに推移しました。

II 平成20年12月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。
(全体的に漁獲は低調)

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べるとやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は年末の需要期のため横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月と比べるとやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は魚体が小さいことから横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は北部太平洋海域、駿河湾から伊豆諸島周辺、山陰沿岸、九州西方海域)

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べるとやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。(日本海側は時化もありやや漁獲が減少。太平洋側は前月に引き続き昨年を下回る漁となっている)

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月と比べるとやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。(主漁場は山陰沿岸、五島西沖、対馬周辺、駿河湾～伊豆諸島周辺、犬吠埼沿岸)

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は前月と比べるとやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は年末の需要期のためやや強含みに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～51	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	11月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
20年	56	806	56	774	56	784
前年	56	842	56	813	54	795

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	11月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	826	104	131	154
さけ・ます(平均)	632	99	101	105
(ぎんざけ塩蔵品)	681	100	102	105
(あきさけ塩蔵品)	440	100	89	107
(ときさけ塩蔵品)	800	100	105	96
(べにざけ塩蔵品)	950	100	96	99
(さけ類冷凍品)	658	104	117	121
さば(生鮮品)	540	90	105	111
するめいか(平均)	388	109	102	97
(生鮮品)	421	115	108	100
(冷凍品)	253	86	75	79
あじ(生鮮品)	514	101	106	87
まぐろ(冷凍品)	1,405	98	101	107
(めばち冷凍品)	998	98	113	112
(きはだ冷凍品)	817	93	110	130
(くろまぐろ冷凍品)	3,610	94	92	126
(みなみまぐろ冷凍品)	2,187	93	73	102

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:11月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成15年~19年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班
 代表 03-3502-8111
 内線 6617 三瓶、嶋田
 直通 03-3591-5612